

エムズシステム社長



みうら・てるひと 1955年岩手県生まれ。上智大学文学部フランス文学科卒業後、伊勢丹に入社。アマゾンの森を守るNGOで環境保護活動に取り組むため退職。2000年経営コンサルティング会社エムズシステム設立。03年に職種を総合音響メーカーに変え、翌年エムズシステムスピーカーを発売した。

2005年から全国で開催している「演奏家のいない演奏会」。主役は紙と木といった自然素材と最先端の波動エネルギー技術で製作した円筒形のスピーカーだ。このほど帝国ホテルで開かれた400回目の演奏会は、CDをかけるだけの集まりに200席が満席になった。

主催する総合音響メーカー、エムズシステムの三浦光仁社長は「従来の一方向に音を放す指向性のスピーカーと異なり、無指向性は空間全体に音が行き渡る」と解説する。どの場所においても、1本のスピーカーで臨場感あふれる立体的な音を楽しめる。良さを伝えるには聞いてもらうのが一番と演奏会を続ける。

大学時代にフランスに留学した際、欧州30カ国を訪れた。その後、就職先の伊勢丹で主にバイヤーとして活躍し、6年間仏パリにも駐在。多彩な経験や人脈を生かし、経営コンサルティング会社を起業した。スピ

スピーカー、空気を変える

■ CDだけの演奏会 400回に

ーカーの開発者と出会い、プロトタイプスピーカーから流れる自然な音にほれ込むと「豊かな音響であらゆる空間をデザインしたい」と会社を音響メーカーに変えた。

「音の質は空気の質」と語り「波動スピーカーは音による空気調整が期待できる」と持論を展開する。音が空気を微細に振動させ、より良い環境を生むという。実際、ホテルや百貨店などに採用される中、働き方改革の一環として一般企業も注目し始めた。製品を採用する企業は社員食堂などに設置。リラックスした空間づくりで、従業員のストレス低減に役立てたいとの思惑がある。

代表作「MS1001」(税別12万9000円)は直径21㌢、幅40㌢で置く場所を選ばず、どの空間にもなじむ。スマホやパソコンに接続して楽しめるアンプ内蔵型や受注生産のスケルトンのスピーカーなど趣向を凝らす。テレビに接続するスピーカーは音が聞き取りやすくなると家庭以外に高齢者施設などから引き合いがある。音による環境改善は着実に裾野を広げている。

(ライター 菊地純子)

